

ビルトイン浄水器
AWJ501LK型
取付設置説明書

お客様（お施主様）に満足してご使用いただくために、この取付設置説明書をよくお読みのうえ正しい取り付けをお願いします。
配管工事はすべて建築基準法、水道法、各市区町村の条例規定に準じておこなってください。
※ビルトイン浄水器の取り付けには、部品をキッキンに取り付ける作業と配管工事（建設業：管工事業種）が必要です。
配管工事は関連する法令・規定に従って法的有資格者が実施しなければなりませんので、管工事業者へのこの取付設置説明書を確認してお読みいただき配管工事を依頼してください。
管工事業者（法的有資格者）に依頼する工事：
・給水／給湯の一次側配管との接続および検査
上記以外の作業は、管工事業者（法的有資格者）以外でも可能です。

● AWJ501LK型
・ AWJ501LKS/AWJ501LKS-B…センサー自動吐水
・ AWJ501LK…手動吐水

安全のために必ずお守りください

本体に同梱されている取扱説明書および保証書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れるないように保管し、取り付け完了後お客様にお渡しください。

警告表示と注意表示の定義について

この取付設置説明書記載の警告事項 **△警告**、**△注意** の区別について

△警告 取り扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

△注意 取り扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示します。

その他お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区別し説明しています。
図の中や近くに具体的な行為が描かれています。

 禁止 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

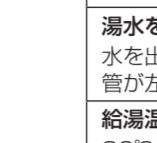
 必ずお守りください 記号は強制（必ず実行してほしい）したり指示する内容を告げるものです。

※いずれの場合も重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。
正しい取り扱いや、点検に関する内容を次の表示で示します。

要点 正しい操作のしかたや点検のポイントを示します。

- 1 -

△警告

	飲用水に合格した水（水道水など）以外には使用しない。 水中に溶け込んでいる溶解性の鉛、鉄、マンガンおよびアルミニウム（中性）以外の金属イオンやウイルスなどは浄化できませんので、飲用以外の水は体調を損なうおそれがあります。 井戸水は除去できない不純物混入のおそれがありますので、使用しないでください。
	湯水を逆に配管しない。 水を出そうとしても、湯水が出てやけdoをすることがあります。必ず給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
	給湯温度は80°Cより高温で使用しない。 80°Cより高温で使用すると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけdoをしたり、漏水で家財などを濡らすおそれがあります。
	加工および接合、市販浄水器具の取り付けなどの改造はしない。 器具が破損し、やけdoをしたり、漏水で家財などを濡らすおそれがあります。
	電磁弁ユニットや配線接続部、ACアダプターには水をかけない。 火災や感電の原因になります。
	指定する電源（AC100V 50/60Hz）以外では使用しない。 火災の原因になります。
	濡れた手でACアダプターを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	やけdoのおそれのあるところまで水栓変動をおさえた配管設備にする。 他所の水栓の使用などにより水栓変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。
	ストーレーの清掃は止水栓で必ず湯水を止めてからおこなう。 また、湯側止水栓が熱くないことを確認すること。 湯水がふきだしてやけdoをしたり、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	コンセントの設置は、電気設備技術基準または内線規定に従い、確実におこなう。 誤った電気工事は、感電または火災の原因になります。

△注意

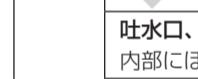
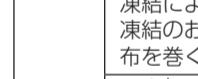
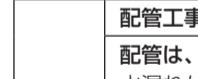
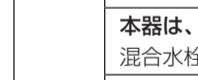
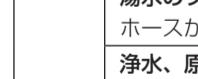
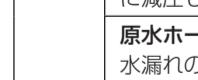
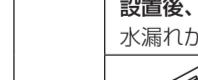
	凍結のおそれのある場所には設置しない。 浄水カートリッジなどが凍結割れし、水漏れするおそれがあります。
	厚さが30mm以上ある天板には、穴開けをしない。 取り付けができません。穴を開けた場合に補償問題になるおそれがあります。
	ホース類を折り曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、挟み込んだりしない。 水漏れの原因になるおそれがあります。
	吐水口先端を、ホースなどで延長しない。 故障の原因になります。

△注意

	凍結のおそれのある場所には設置しない。 浄水カートリッジなどが凍結割れし、水漏れするおそれがあります。
	厚さが30mm以上ある天板には、穴開けをしない。 取り付けができません。穴を開けた場合に補償問題になるおそれがあります。
	ホース類を折り曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、挟み込んだりしない。 水漏れの原因になるおそれがあります。
	吐水口先端を、ホースなどで延長しない。 故障の原因になります。

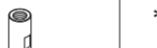
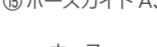
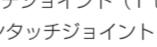
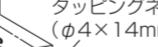
- 2 -

△注意

	吐水口、パイプ、本体ホースの各先端部に汚れた手で触らない。 清潔を維持しないと、ゴミの吐出や水あか発生などの原因になるおそれがあります。
	吐水口、パイプ、本体ホースの各先端部は床などに置かない。 内部にほこりやゴミなどが入り、吐水に混入したり水あかが発生する原因になります。
	器具に強い力や衝撃を与えない。 器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	配管部を凍結させない。 凍結により故障するだけでなく、水漏れによりキッチンや家屋が損傷します。
	凍結のおそれがあるときは、浄水カートリッジを取り外す、少量の水を出しておく、配管に布を巻などで保温するなど凍結防止の工夫をしてください。
	センサー面を傷つけないようにする。 器具が破損したり、誤作動するおそれがあります。
	配管工事はすべて建築基準法、水道法、各市区町村の条例規定に準じておこなう。 配管は水漏れのないよう確実におこなう。
	水漏れが起こると、補償問題になるおそれがあります。
	本器は、混合水栓および設備部材をセットで使用する。 混合水栓を、単独で使用しないでください。
	湯水のブレードホースは曲げ半径60mm以上を確保する。 ホースが折れると亀裂や破損を起こし、水漏れなどの原因になります。
	浄水、原水ホースは曲げ半径50mm以上を確保する。 ホースが折れると亀裂や破損を起こし、水漏れなどの原因になります。
	給水圧力が高いときは減圧弁で減圧する。 給水圧力が0.74MPaを超えるときは、市販の減圧弁で適正圧力(0.20~0.49MPa程度)に減圧してください。浄水カートリッジなどが割れ、水漏れするおそれがあります。
	原水ホースは最後まで差し込み、ホースナットをしっかりと締め付ける。 水漏れの原因になるおそれがあります。
	設置後、混合水栓を含む配管接続部全体の水漏れ点検を確実におこなう。 水漏れが起こると、補償問題になるおそれがあります。
	止水栓取り付け箇所や給水・給湯管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にする。 点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- 3 -

△注意

取り付け開始前に商品の全部品が損傷なくそろっているか、確認してください。	
同梱部品	
 ①混合水栓（1本） * AWJ501LK の混合水栓は、右記②③④の部品は組み込み済み	
 ②馬蹄座金	
 ③ばね座金	
 ④プラグ	
 ⑤締付工具 * AWJ501LK は同梱なし	
 ⑥浄水カートリッジ（1個）	
 ⑦ブラケット（1ヶ）	
 ⑧逆止弁ジョイント（2ヶ）*パッキン付き	
 ⑨ホースバンド（2ヶ）	
 ⑩クランプ（1ヶ）	
 ⑪タッピングネジ（φ4×14mm 6本）	
 ⑫両面テープ（1枚）	
 ⑬ジョイントA（1ヶ）	
 ⑭ジョイントB（2ヶ）*パッキン付き	
 ⑮ホースガイドA,B (各1ヶ)	
 ⑯ホース（1本）	
 ⑰ワイヤーステッカー（5ヶ）* AWJ501LK は同梱なし	
 ⑱取扱説明書（お客様用）	
 ⑲お客様登録カード	
 ⑳取扱説明書（設置業者様用）	
 ㉑浄水カートリッジ 吊り下げ袋	

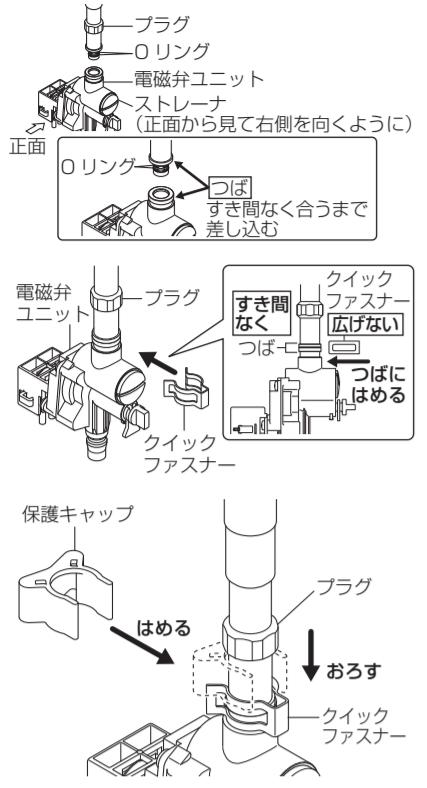
- 4 -

2 設置作業前の確認と準備

必ずお客様（お施主様）とご相談のうえ決めてください。

チェック欄	確認項目	チェック欄	確認項目
<input type="checkbox"/>	混合水栓取り付け位置の確認	<input type="checkbox"/>	浄水カートリッジ設置位置の確認
昇降式のキャビネットがあるときは、可動部が接触しないことを確認し、混合水栓を設置してください。			

2. 電磁弁ユニットの取り付け (AWJ501LKS/AWJ501LKSb 対象)



① プラグのつばと電磁弁ユニットのつば（ストレーナが正面から見て右側を向くように）がすき間なく合うまで差し込みます。

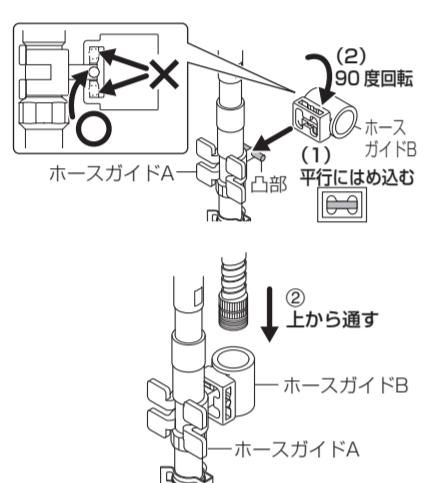
△注意
プラグ先端のOリングに傷が付かないようにする。
漏水のおそれがあります。

② クイックファスナーをプラグと電磁弁ユニットのつばにはめます。

③ クイックファスナーに保護キャップをはめます。このとき、保護キャップはプラグ（六角部より下側）にはめてから、クイックファスナーまでおろします。

△注意
・電磁弁ユニット取り付け後、ブレードホースなどに接触しないことを確認する。
・電磁弁ユニットを下に引っ張って、抜けないことを確認する。
漏水して家財などを漏らすおそれがあります。

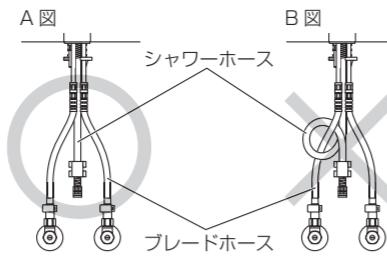
3. カブランユニットの取り付け (全モデル共通)



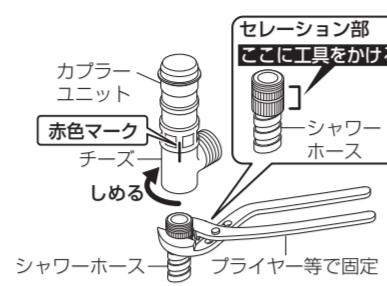
① (1) 同梱のホースガイドBを、ホースガイドAの凸部と平行になるようにはめます。
(2) ホースガイドBを90度回転させます。

② シャワーホースを上から通します。
ホースガイドB
ホースガイドA

- 9 -



△注意
固定した際、シャワーホースをまっすぐ下げる。(A図)
B図のように、ブレードホースを引っ掛けたり、ひねったりしないでください。シャワーホースが破損し漏水により家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。



③ チーズとカブラーの接続にゆるみがないか確認します（確認用の赤色マーク）。確認後、カブランユニットとシャワーホースを接続します。

要点:
ゆるみがあるまたはカブランユニット接続時は、手締めをし、さらに約30度増し締めてください。（締め付けトルク目安約1N·m）

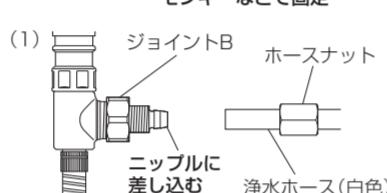
△注意
以下の項目を確認してください。漏水して家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。
・カブランの締め付け過不足
・シャワーホースのセレーション部以外に工具をかけない
・シャワーホースはねじらない

4. 净水ホースとの接続 (全モデル共通)

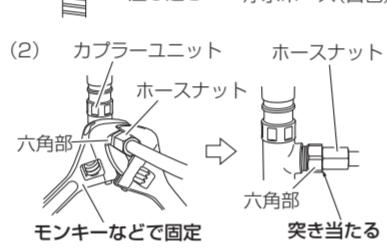


① カブランユニットにジョイントBを接続します。

△注意
工具を必ず使用し、確実に締め付ける。締め付けトルクの目安は約10N·m。
締め付け不足や締め付けすぎると、水漏れします。



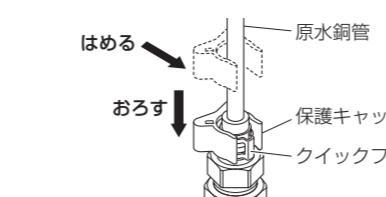
② ジョイントBに浄水ホース（白色）を接続します。
(1) ジョイントBに浄水ホース（白色）を奥まで差し込みます。



② ジョイントBの六角部をモンキーなどで固定し、ホースナットをジョイントBに突き当たるまで締め付けてください。

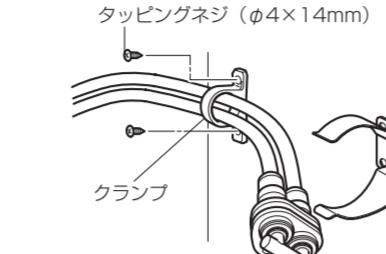
△注意
工具を必ず使用し、確実に締め付ける。
締め付け不良ですと、水漏れします。

- 10 -



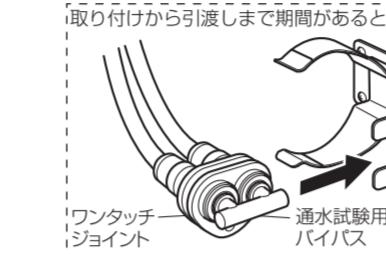
④ クイックファスナーに保護キャップをはめます。このとき、保護キャップは原水銅管にはめてから、クイックファスナーまでおろします。

7. 净水カートリッジ取り付け準備 (全モデル共通)



浄水ホースと原水ホースの固定
同梱のホース固定用クランプに浄水ホースと原水ホースを通し、タッピングネジ（φ4×14mm）2本で固定してください。
その後、ホースバンドで浄水ホースと原水ホースを固定してください。

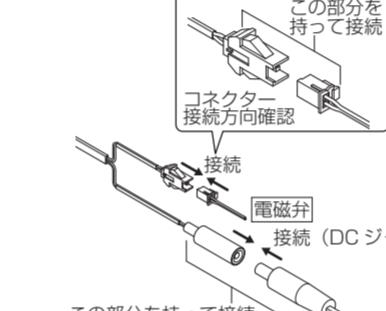
△注意
浄水カートリッジの取り付けができる位置まで浄水ホースがのびることを確認する。



要点:
商品の取り付けからお客様への引渡しまで期間があるときは次のようにしてください。
・浄水カートリッジ内の衛生性を保つために、通水試験用バイパスを取り付けた状態でワンタッチジョイントをブレケットに取り付けてください。
・浄水カートリッジは通水しないで浄水カートリッジ吊り下げ袋に入れ混合栓にかけて、お客様に確実にお渡しください。



8. コネクターの接続と配線の固定 (AWJ501LKS/AWJ501LKSb 対象)

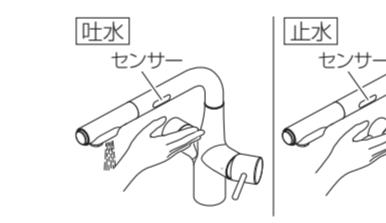


① 電磁弁ユニットのコネクターとDCジャックをそれぞれ接続します。

要点:
・コネクターの接続時は、コネクターを持って確実に差し込んでください。
・配線部が断線するおそれがありますので、配線部を引っ張らないように注意してください。

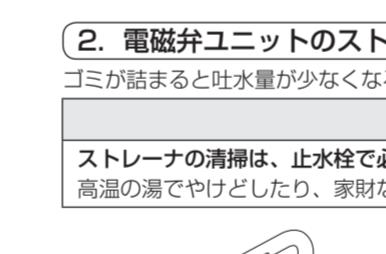
この部分を持って接続
この部分を持って接続
ACアダプター

- 13 -



④ センサーの保護フィルムをはがし、手をかざして吐水・止水をするごとを確認します。
⑤ 止水し、混合栓レバーを閉じます。接続部からの水漏れがないか確認してください。

AWJ501LK の場合
③ および ⑤ の操作手順となります。



② 電磁弁ユニットのストレーナの清掃 (AWJ501LKS/AWJ501LKSb 対象)

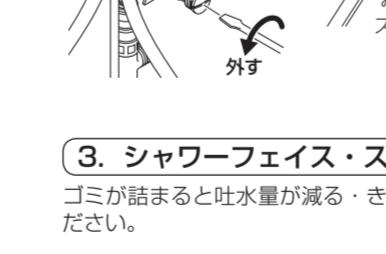
ゴミが詰まると吐水量が少なくなる原因になりますので、施工後は必ず清掃してください。

△注意

ストレーナの清掃は、止水栓で必ず止水してからおこなうこと。
高温の湯でやけたり、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。



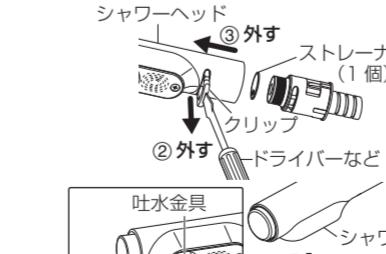
① 混合栓レバーを吐水状態にし、湯水の止水栓を閉めます。
② センサーに手をかざして吐水しないことを確認します。



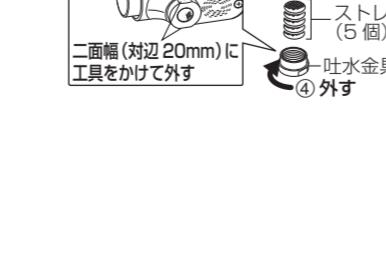
③ ストレーナを反時計回りに回し、取り外します。
④ ゴミ・水あかなどを洗い流します。清掃後、取り外しと逆の手順で組み立てます。

△注意

ストレーナは過剰に締め込みすぎない。
破損して漏水し、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

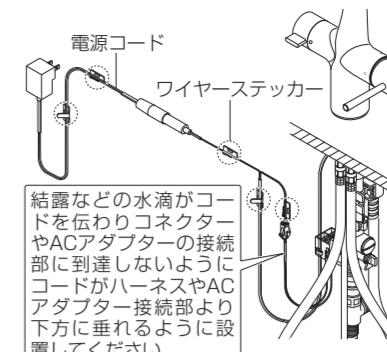


① 湯水全開で20～30秒吐水させます。
② ドライバーなどでクリップを外します。
③ シャワーヘッドを外し、ストレーナ（1個）を取り外します。



④ モンキーレンチなどで吐水金具をゆるめて外し、ストレーナ（5個）を取り外します。

- 14 -



② キャビネットの背面にワイヤーステッカーを取り付けます。
③ ワイヤーステッカーでハーネスや電源コードを壁に固定します。

△注意
コード類とブレードホース・シャワーホースなどが接触したり絡んだりしないようにすること。
発火・ショート・感電の原因になります。

要点:
ワイヤーステッカーは5個同梱していますので、必要に応じて固定してください。また電源コードは床につかないようしてください。

④ ACアダプターをコンセントに差し込んでください。

ACアダプターをコンセントに差し込んでください。

6 取り付け後の点検と清掃

1. 通水確認 (全モデル共通)

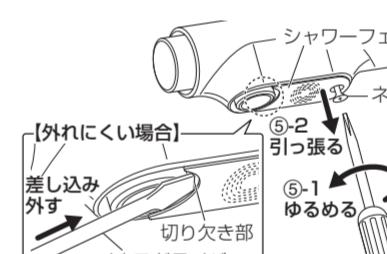
△注意
設置後、湯水の出し止めを5～6回繰り返し、混合栓を含む配管接続部全体の水漏れ点検を確實におこなう。
水漏れが起ると、補償問題になるおそれがあります。

AWJ501LKS/AWJ501LKSb の場合
① ACアダプターが差し込まれていることを確認します。
② 電磁弁ユニットの手動弁が左側いっぱいまで回っていることを確認します。

△注意
手動弁は工具を使わずに手でゆっくりと操作すること。
③ 湯水の止水栓を開き、混合栓レバーを吐水状態にします。

この部分を持って接続
この部分を持って接続
ACアダプター

- 14 -



⑤ シャワーフェイスのネジをゆるめ、ストレーナ（2個）を取り外します。

要点:
・ネジはシャワーフェイスから外れません。
・シャワーフェイスが外れにくい場合は、切り欠き部にマイナスドライバーを差し込みます。

⑥ シャワーフェイス・ストレーナをブラシなどで水洗いします。清掃後、取り外しと逆の手順で組み立てます。

△注意
吐水金具・ネジを締め付けすぎないように注意すること。
破損や水漏れの原因となることがあります。

⑦ シャワーフェイス・ストレーナをブラシなどで水洗いします。清掃後、取り外しと逆の手順で組み立てます。

△注意
施工が完了した後、必ず混合栓レバーを閉じること。
漏水し、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

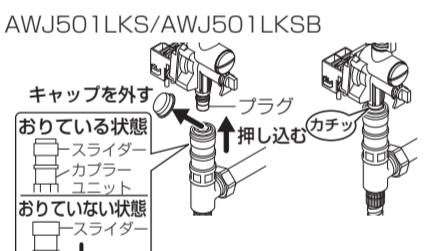
要点:
お客様がすぐに使用しない場合は、必ずコンセントからACアダプターを抜いてください。(AWJ501LKS/AWJ501LKSbのみ)

必ずお守りください。

取扱説明書、お客様登録カード、浄水カートリッジは、お客様（お施主様）に必ず渡してください。

トクラス株式会社
〒432-8001 静岡県浜松市西区西山町1370
2010_XFW-28199-10-K0

5. シャワーホースの接続 (全モデル共通)



AWJ501LKS/AWJ501LKSb
キャップを外す
おりている状態
スライダー
カブラン
おりていない状態
スライダー
カブラン

① カブランユニットのキャップを外し、スライダーを下におろしてから電磁弁ユニット（AWJ501LKは本体）のプラグへ「カチッ」と音がするまで押しこみます。（スライダーがすでにおりている場合もあります。）

△注意
カブラン接続後、以下の項目を確認してください。漏水して家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。
・スライダーが上がっていること（カブランからスライダーが5mm程度上がっていること）
・カブランを下に引っ張って外れないこと

要点:
カブランを取り外すときは、スライダーを下におろしてからホースを引き抜いてください。

△注意
シャワーホースは止水栓や原水銅管などに引っ掛けないで、給水・給湯ホースの間にぶら下げる。
シャワーホースが引き出しおくなりったり、ホース損傷により漏水で家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

△注意
電磁弁ユニットのストレーナが右を向いているか確かめます。
コードやホース類と絡まり、発火・ショート・感電の原因になります。

② ハーネスを電磁弁ユニットのコイルカバーツメ部に差し込みます。(AWJ501LKS/AWJ501LKSbのみ)

要点:
ハーネスの白色ライン部の面を電磁弁側に向けてください。

- 11 -

- 12 -

- 13 -

- 14 -

- 15 -

- 16 -